

今月はICOの4月コーヒーマーケットレポートに加え、トピックスとして最近注目されているコロンビアのコーヒー生産量及び同国エル・ニーニョ被害の現状についてコロンビアコーヒー生産者連合（FNC）のホームページから同社広報の最新情報の邦訳を3件お届けします。



輸出は好調を維持したが、価格は分かれた。

今月は、アラビカコーヒーとロブスタコーヒーの価格が違った動きをした、即ちアラビカの月間平均指標価格は3月に反発した後下落したが、ロブスタは11月以来の高値を付けた。2015/16年度最初の6か月の総輸出量は前年同期比1.6%増加し55.5百万袋となり、コーヒー消費市場には引き続き十分なコーヒーが供給されたが、ロブスタコーヒーについては供給可能量への懸念が広がった。

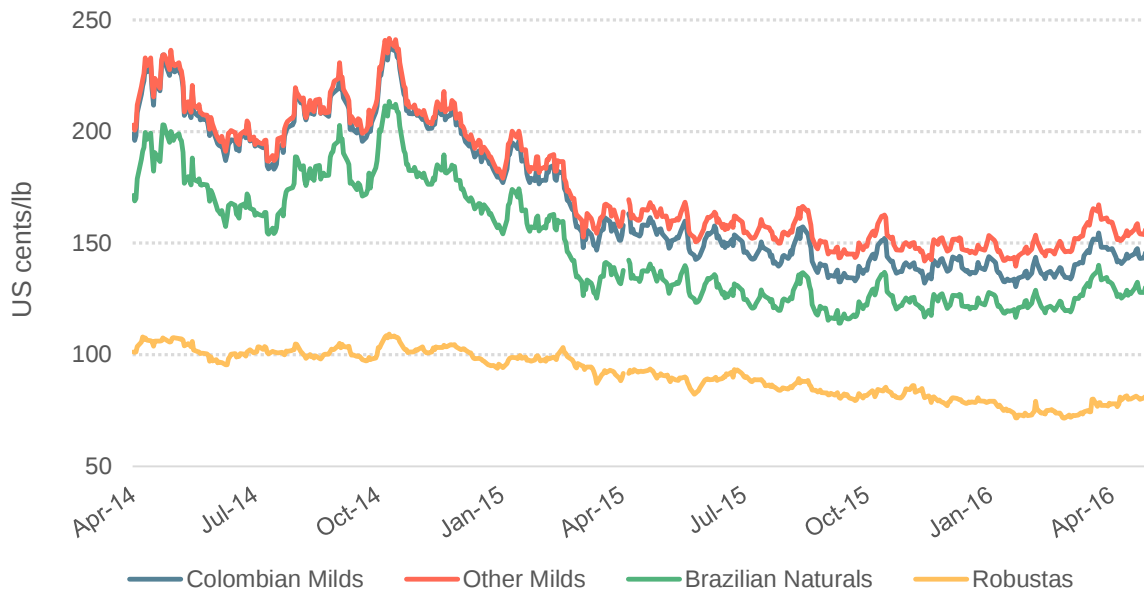
グラフ 1: ICO 日次複合指標価格



© 2016 International Coffee Organization (www.ico.org)

ICO複合指標価格月間平均は117.93セント（+0.1%）と先月に比べほぼ横ばいとなった。日次価格は4月初めに安値115.23セントを付けたが、その後2～3週間上昇し高値は121セント近くまで付けた。しかし全体的にみると4グループ指標価格が互いに相殺した為、複合指標価格としては小幅な範囲内での動きとなった。

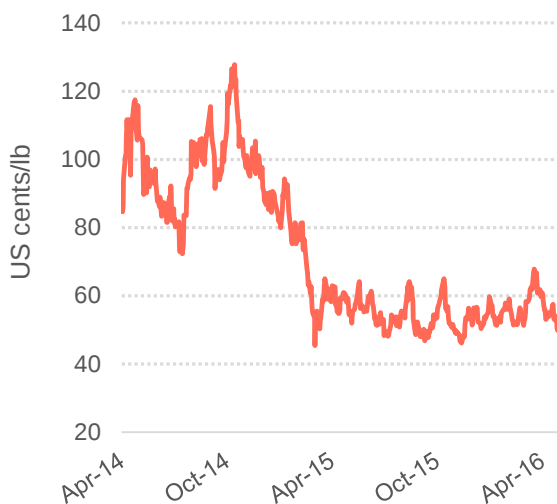
グラフ 2: ICO 日次グループ指標価格



© 2016 International Coffee Organization (www.ico.org)

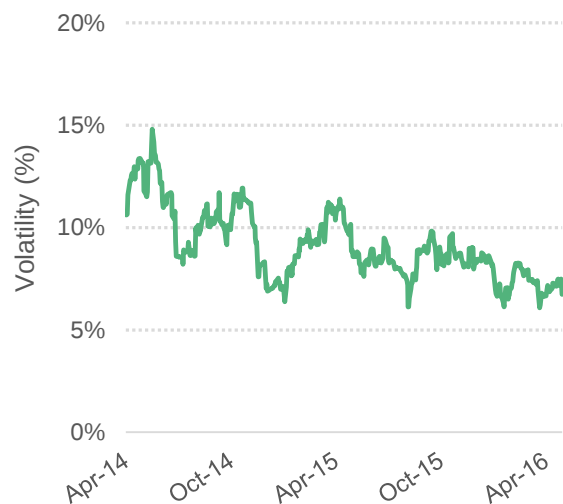
3アラビカグループ指標価格は3月に上昇した後、僅かに下がったが、昨年10月から今年2月の水準は上回っていた。一方、ロブスタコーヒー指標価格の月間平均は、いくつかのロブスタコーヒー生産地域で干ばつが報じられたことで供給不足の懸念が広がった為、6.1%上昇し80.18米セント/LBとなった。結果として、ニューヨークとロンドン先物市場の価格差で表されるアラビカ/ロブスタのアービトラージは10%以上縮小し、日次価格は昨年11月以来となる50セントを割り込むこととなった。

グラフ 3: ニューヨーク及びロンドン先物市場
アービトラージ



© 2016 International Coffee Organization (www.ico.org)

グラフ 4: ICO 複合指標価格の30日移動平均
価格変動率 (Volatility)



© 2016 International Coffee Organization (www.ico.org)

3月の総輸出量は推定10.4百万袋となり、前年同月に比べ1%増えたが、アラビカコーヒーは3%増、ロブスタコーヒーは2%減少した。結果として本年度最初の6か月（10月～3月）の輸出量は2014/15年度に比べ1.6%増の55.5百万袋となった。この数字は、記録となった2012/13年度より僅か14000袋少ない過去2番目に多い輸出量記録であった。アラビカコーヒーの輸出量は7.6%増の35.8百万袋となったが、コロンビアマイルドの輸出量は特に多く13.2%増となった。コロンビアは昨年対比14.1%増となる6.8百万袋輸出したが、この数字は1992/93年度以来の輸出量記録である。一方、ロブスタコーヒー輸出量は7.7%減少し19.7百万袋となったが、ベトナムの輸出量は0.5%と僅かではあるが増加し11.5百万袋となっている。

また3月は、ブラジル、インドネシア、ペルーなどコーヒー収穫年度が4月～3月の生産国にとっては2015/16コーヒー年度の最後の月でもある。ブラジルの2015/16年度輸出量は、昨年度の36.9百万袋に比べると若干少ない36.5百万袋となったが、これは2番目に多い輸出量記録である。この輸出量は、2015/16年度及び2014/15年度の生産量がそれぞれ43.2百万袋、45.6百万袋と少なかったことを考えるとかなり多い数字だと言えるだろう。過去4年間のブラジルの国内消費量は20～20.5百万袋の数字を維持している。ブラジルの2016/17年度生産量は同国食糧供給公社（CONAB）の第一回見通しによると49.1～51.9百万袋にまで回復する予想である。

インドネシアの2015/16収穫年度の輸出量は8.3%減の6.1百万袋の予想だが、これは同国の生産量が推定12.3百万袋と増加しているにも関わらず、2010/11年度以来最も少ない輸出量であることを意味している。これは主に同国の国内消費量が増えたことにより輸出可能量が減ったことによるものである。2016/17年度の同国供給量はエルニーニョで乾燥気候が予想される為さらに減少することが考えられる。

ペルーの見通しは明るく2015/16年度の輸出量は、さび病被害で減産となった前年に比べると、25%多い3.1百万袋に達したようである。

グラフ 5: 主要生産国の生産量、国内消費量及び輸出量 (収穫年度)

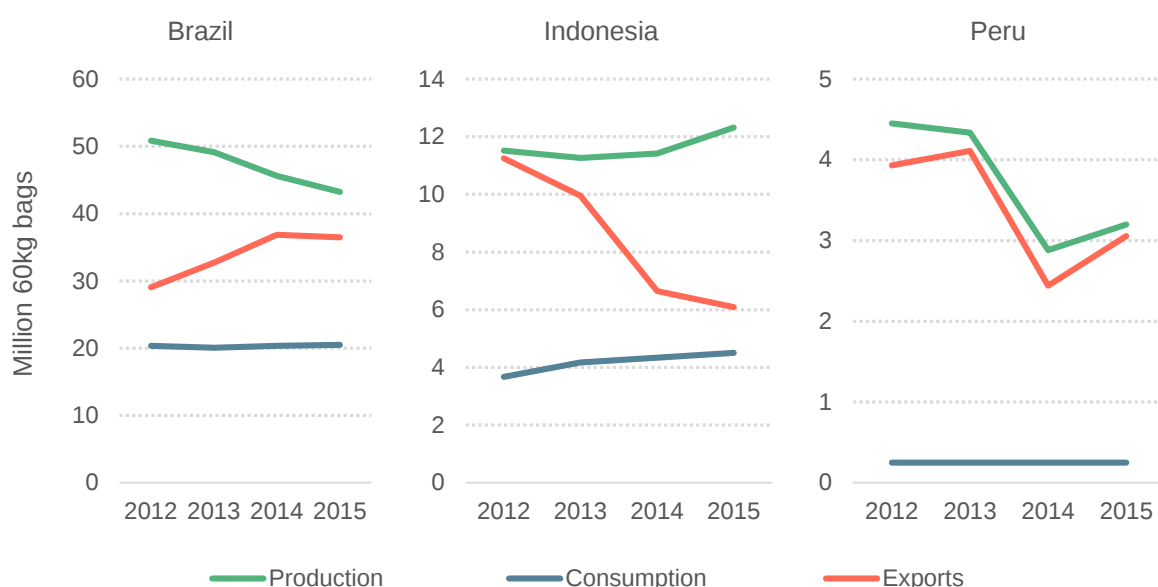


表 1: ICO 指標価格及び先物価格 (US cents/lb)

	ICO Composite	Colombian Milds	Other Milds	Brazilian Naturals	Robustas	New York*	London*
月間平均値							
Apr-15	129.02	157.06	164.00	136.70	92.06	141.79	82.71
May-15	123.49	150.19	158.48	130.38	87.56	135.22	78.03
Jun-15	124.97	152.02	159.76	130.51	90.25	135.86	80.25
Jul-15	119.77	144.52	154.45	123.64	87.12	128.59	77.16
Aug-15	121.21	146.96	156.92	127.24	85.78	132.42	76.25
Sep-15	113.14	135.55	146.15	117.83	81.50	121.66	71.53
Oct-15	118.43	143.10	153.25	127.47	82.78	129.45	72.89
Nov-15	115.03	138.63	147.98	122.95	81.74	122.35	72.04
Dec-15	114.63	139.89	148.66	123.73	79.28	123.77	70.02
Jan-16	110.89	135.21	145.03	121.21	74.71	120.20	65.67
Feb-16	111.75	137.17	147.70	122.24	74.04	119.25	64.96
Mar-16	117.83	145.20	157.50	130.38	75.60	127.33	66.17
Apr-16	117.93	143.66	154.22	128.10	80.18	125.34	70.90
% change between Apr-16 and Mar-16							
	0.1%	-1.1%	-2.1%	-1.7%	6.1%	-1.6%	7.1%
価格変動率 (%)							
Mar-16	5.9	6.0	6.1	6.8	9.4	7.8	4.9
Apr-16	5.9	6.3	6.6	7.2	6.2	7.9	4.7
Variation between Apr-16 and Mar-16							
	0.0	0.3	0.5	0.4	-3.2	0.1	-0.2

* Average price for 2nd and 3rd positions

表 2: 価格差 (US cents/lb)

	Colombian Milds Other Milds	Colombian Milds Brazilian Naturals	Colombian Milds Robustas	Other Milds Brazilian Naturals	Other Milds Robustas	Brazilian Naturals Robustas	New York* London*
Apr-15	-6.94	20.36	65.00	27.30	71.94	44.64	59.08
May-15	-8.29	19.81	62.63	28.10	70.92	42.82	57.19
Jun-15	-7.74	21.51	61.77	29.25	69.51	40.26	55.61
Jul-15	-9.93	20.88	57.40	30.81	67.33	36.52	51.43
Aug-15	-9.96	19.72	61.18	29.68	71.14	41.46	56.17
Sep-15	-10.60	17.72	54.05	28.32	64.65	36.33	50.13
Oct-15	-10.15	15.63	60.32	25.78	70.47	44.69	56.56
Nov-15	-9.35	15.68	56.89	25.03	66.24	41.21	50.31
Dec-15	-8.77	16.16	60.61	24.93	69.38	44.45	53.75
Jan-16	-9.82	14.00	60.50	23.82	70.32	46.50	54.53
Feb-16	-10.53	14.93	63.13	25.46	73.66	48.20	54.29
Mar-16	-12.30	14.82	69.60	27.12	81.90	54.78	60.92
Apr-16	-10.56	15.56	63.48	26.12	74.04	47.92	54.44
% change between Apr-16 and Mar-16							
	-14.1%	5.0%	-8.8%	-3.7%	-9.6%	-12.5%	-10.6%

* Average price for 2nd and 3rd positions

表 3: 輸出国の総生産量

Crop year commencing	2012	2013	2014	2015	% change 2014-15
TOTAL	147 953	146 615	141 376	143 371	1.4%
Arabicas	88 471	87 001	84 397	84 309	-0.1%
<i>Colombian Milds</i>	11 523	13 488	14 549	14 853	2.1%
<i>Other Milds</i>	29 017	26 822	25 896	27 244	5.2%
<i>Brazilian Naturals</i>	47 930	46 690	43 953	42 211	-4.0%
Robustas	59 482	59 614	56 978	59 062	3.7%
Africa	16 668	16 271	16 085	17 074	6.1%
Asia & Oceania	45 681	46 527	44 623	46 589	4.4%
Mexico & Central America	18 481	16 585	17 390	18 462	6.2%
South America	67 122	67 233	63 278	61 246	-3.2%

単位：千袋

Full production data are available on the ICO website at www.ico.org/trade_statistics.asp

表 4: 輸出国の総輸出量

	March 2015	March 2016	% change	October - March		
				2014/15	2015/16	% change
TOTAL	10 281	10 388	1.0%	54 588	55 461	1.6%
Arabicas	6 249	6 438	3.0%	33 284	35 802	7.6%
<i>Colombian Milds</i>	930	1 208	29.9%	6 558	7 425	13.2%
<i>Other Milds</i>	2 491	2 229	-10.5%	9 532	10 185	6.8%
<i>Brazilian Naturals</i>	2 829	3 002	6.1%	17 194	18 193	5.8%
Robustas	4 032	3 949	-2.0%	21 304	19 659	-7.7%

単位：千袋

Full trade statistics are available on the ICO website at www.ico.org/trade_statistics.asp

表 5: ニューヨークとロンドン先物市場の認証在庫推移

	Apr-15	May-15	Jun-15	Jul-15	Aug-15	Sep-15	Oct-15	Nov-15	Dec-15	Jan-16	Feb-16	Mar-16	Apr-16
New York	2.56	2.41	2.43	2.38	2.36	2.28	2.15	2.08	1.95	1.82	1.76	1.62	1.58
London	2.93	3.02	3.12	3.35	3.43	3.43	3.37	3.35	3.31	3.23	3.04	2.92	2.78

単位：百万袋

表 6: 世界のコーヒー消費量

Calendar years	2012	2013	2014	2015	CAGR (2012-2015)
World total	143 348	148 003	150 339	152 149	2.0%
Exporting countries	44 441	45 445	46 494	47 292	2.1%
Importing countries	98 907	102 558	103 845	104 857	2.0%

CAGR: Compound Annual Growth Rate

単位：千袋

ートピックスー

コロンビアコーヒー生産状況については今月の ICO コーヒーマーケットレポートにも採り上げられていますが、最近市場で注目されているコロンビアのエル・ニーニョ被害について、コロンビア生産者連合（FNC）広報が発表した最新情報の邦訳をお届けします。

（１）エル・ニーニョ現象がコロンビアコーヒーの成長に悪影響を与えている

４月、コロンビアコーヒー生産量 13%増える

・ コロンビアコーヒーの輸出量は 5%減少したが、これはエル・ニーニョによる悪影響でアルマカフェ（FNC のコロンビアコーヒー集荷場）に集荷されるコーヒーの品質が落ちていることによるものである。

ボゴタ、５月 6 日（FNC 広報）

マイルドアラビカコーヒー最大生産国であるコロンビアの 4 月のコーヒー生産量は 1,043,000 袋だった。これは 2015 年 4 月の 924,000 袋に比べ 13%多い数字である。2016 年 1 月～4 月の生産量は、前年同期に比べると 10%多い 4.2 百万袋となった。

生産量が増えたのは FNC が主導したコーヒー農園更新プログラムにより農園が更新され若木が増えた為、コロンビアコーヒーの生産性が向上したことによるものだが、輸出用 EXCELSO タイプのコーヒーが減少したため輸出量は減少しており、エル・ニーニョの影響が明らかになってきている。

過去 1 年間（2015 年 5 月～2016 年 4 月）のコーヒー生産量は 14.6 百万袋（60 k g）弱である。これは前年同期の 12.4 百万袋に比べると 17%増えていることを意味する。

2016 年 4 月生産量（60 kg）

2016 年 4 月 1,043,000 袋（+13%）

2015 年 4 月 924,000 袋

2016 暦年生産量（60 kg）

2016 年 1 月～4 月 4,219,000 袋（+10%）

2015 年 1 月～4 月 3,841,000 袋

過去 12 ケ月のコーヒー生産量（60 kg）

2015 年 5 月～2016 年 4 月 14,553,000 袋（+17%）

2014 年 5 月～2015 年 4 月 12,436,000 袋

2015/16 年度コーヒー生産量 (60 kg)

2015 年 10 月～2016 年 4 月 8,363,000 袋 (+17%)

2014 年 10 月～2015 年 4 月 7,143,000 袋

コロンビアコーヒーの 4 月輸出量 5%減少する

コロンビアコーヒーの 4 月の輸出量は 906,000 袋 (60 kg) となり、前年同月比 5%減少した。これは主にエル・ニーニョ現象の影響であり アルマカフェに集荷されるコーヒーの品質が悪くなったことによるものである。大まかな数字ではあるが、アルマカフェで在庫されている低品質コーヒーの割合は 1 月から 4 月の間 35%増えている。

2016 暦年の輸出量は 4.2 百万袋となったが、これは 2015 年 1 月～4 月の間に国際市場に販売された 3.9 百万袋と比べると 9%増えたことを意味している。過去 12 ヶ月 (2015 年 5 月～2016 年 4 月) のコロンビアコーヒーの輸出量は 13.1 百万袋弱となっている。これは前年同期間の 11.1 百万袋に比べ 18%多い数量である。

2016 年 4 月輸出量 (60 kg)

2016 年 4 月 906,000 袋 (△5%)

2015 年 4 月 957,000 袋

2016 暦年輸出量 (60 kg)

2016 年 1 月～2016 年 4 月 4,209,000 袋 (+9%)

2015 年 1 月～2015 年 4 月 3,857,000 袋

過去 12 か月輸出量 (60 kg)

2015 年 5 月～2016 年 4 月 13,066,000 (+18%)

2014 年 5 月～2015 年 4 月 11,106,000

2015/16 コーヒー年度輸出量 (60 kg)

2015 年 10 月～2016 年 4 月 7,689,000 (+11%)

2014 年 10 月～2015 年 4 月 6,902,000

以上

(2) 輸出を増やす為、国際品質標準に合わせることをとする

コロンビアコーヒーの輸出基準である EXCELSO タイプの品質基準を緩和する

- ・ 輸出業者はこれから輸出用 EXCELSO としてスクリーンサイズが 14/64 インチ以下のビーンサイズのものについても 12/64 以上であれば輸出できるものとする。ただし、その他の輸出品質基準（水分、欠点豆、虫食い豆、香り及びカップ品質）は従来通りである。
- ・ コロンビアコーヒー輸出用 EXCELSO の品質表示についても変更する。即ち生豆が輸出用 EXCELSO としての最低品質基準を満たしていれば、ビーンサイズ及び欠点数をラベルに品質表示する必要はない。

ボゴタ、5月5日（FNC 広報）

全国コーヒー生産者委員会において、輸出を増やす目的で国際輸出基準に合わせて輸出用 EXCELSO の品質基準を変更することが決まった。

米国グリーンコーヒー協会（Green Coffee Association）のニューヨーク品質標準基準によるとコロンビアコーヒー EXCELSO タイプは 14/64 以下のビーンサイズについては 5% まで混入することが許容されているが、我が国は伝統的に最大 1.5% までしか混入を認めないという自主基準を設けていた。当然のことながら、この自主基準が多くの良質なコロンビアコーヒーの輸出を阻んできた。

全国コーヒー生産者委員会において 2016 年 4 月 25 日に採択された第 2 決議案によると、輸出業者は今後 14/64 スクリーン以下であっても、12/64 以上であれば最大 5% までは輸出できることになった。ただし、その他の基準値（水分、欠点豆、虫食い、香り、カップ品質）については従来通りの基準が適用される。全国生産者委員会で制定されたこの条例をコロンビアコーヒー生産者連合（FNC）及び個別輸出業者は遵守せねばならない。

この決議は輸出用コロンビアコーヒー EXCELSO の品質表示についても変更している。即ち EXCELSO としての最低品質基準を満たしてさえいればラベルにビーンサイズや欠点数を表示する必要はなくなるのである。ラベル上には単に『EXCELSO』、『コロンビアコーヒー（CAFÉ de Colombia）』とのみ表示すればいいことになるのである。FNC はこのタイプのコーヒーとしての品質証明書を発行することになる。

この新ルールはコロンビアコーヒー農家の収入を増やす目的で制定されたものである。またこれは 2015 年 10 月に発議され採択された EXCELSO 以外のコーヒー生豆の輸出（海外で『コロンビア製品（Product of Colombia）』の名で販売されているコーヒー豆）にかかわる条例を補完するものである。

以上

(3)『エル・ニーニョのコロンビアコーヒー農業への影響』

(持続可能性に重要な関係がある事柄)

コロンビアコーヒーインサイト (Colombian Coffee Insight) (FNC の海外向け広報、2016 年 4 月)

フローター(Floating Fruits)、未成熟青豆 (Green fruits with filling problems)、立ち枯れ症状のあるコーヒー木 (Trees with wilting symptom) の割合 (percentage) を調べることで現在、将来及びさらに遠い将来の経済的な影響度合が分るが、これらの割合が通常の倍あることが判明した。

コロンビアの多くのコーヒー生産地域に高温・少雨をもたらしたエル・ニーニョ現象は特に 2015 年後半まで活発だったが、ようやく衰え始めたようである。しかし、これまでエル・ニーニョがコロンビアコーヒー農園にどのような影響を及ぼしたかが問題である。今年前半のコーヒー生産量は 700,000～1.5 百万袋減産となることが予想される。

エル・ニーニョの影響を更に詳細に調べるためにコロンビアコーヒー生産者連合 (FNC) は 2 月の第 2 週に 7,048 のコーヒー農園に赴き現地調査を行った。

最近発表された調査結果によると、3 種類の変数 (variables) から判断すると、全国のコーヒー州でかなりの被害があったことが分った。3 種類の変数とは次の 3 つである。

1. ベネフィシアデロ (収穫直後に使用する施設) から採取したサンプルで乾燥気候の影響で発生するフローターの混入率 (コーヒー生産者の現在の収入に直接影響するダメージ)
2. 180 日～190 日の結実に問題のある未成熟青豆の混入率 (将来の収入に影響するダメージ)
3. 立ち枯れ症状のあるコーヒー木の割合 (さらに遠い将来のコーヒー木の収穫に影響するダメージ)

これら 3 変数を調査し、次のような結果を得た。

1. フローターの割合は乾燥気候の影響により全国平均で 19.4%だった (通常は 10%未満)。
2. 結実に問題のある未成熟青豆の全国平均混入率は 33.3%だった (通常は 10%未満)。
3. 立ち枯れ症状のあるコーヒー木の割合は全国平均で 16.5%だった (この数字が 8%もしくはそれを超えるとかなり深刻な状況である)。

被害の程度は州によって違うが、被害は全国で見られた。

1. フローター被害の割合が最も高かったのはメタ、カルダス、クンディナマルカ、リサラルダ及びバイエデルカウカ州だった。
2. 結実に問題のある未成熟青豆被害の割合が最も高かったのはトリマ、ウイラ、カルダス、アンティオキア、クンディナマルカ及びバイエデルカウカ州だった。
3. 立ち枯れ症状のあるコーヒー木の割合が最も高かったのはアンティオキア、カルダス、カケタ、セサール及びグアヒラ州だった。

コロンビアの第一四半期のコーヒー生産量は前年対比 9%増加し、輸出は 13%増えたが、たぶん 4 月になるとエル・ニーニョ被害の影響が生産や輸出に現れることになるだろう。我々の顧客、支持者、戦略パートナーにコロンビアコーヒーのエル・ニーニョ被害について詳しくお知らせするのは信頼できるコーヒー供給者としての我々の使命の一部であると考えている。

以上